



CIVIC FORCE

NEWS LETTER Vol.17

ニュースレター (MARCH, 2019)



昨年夏に西日本豪雨の被害を受けた愛媛県宇和島市、河内上・立間地区のサロン活動を応援しようと、2月中旬、九州北部豪雨(2017年)の被災地である大分県日田市から名湯・天ヶ瀬温泉のお湯が届けられ、日田市民との交流イベントが開催されました。参加した女性は、「辛くて閉じこもってしまうときもあるけれど、同じ境遇の方の話を聞いて元気になれた」と話していました。
写真提供：ひらくボランティアセンター

東日本大震災から8年 「今度は私が」

「一時は進学をあきらめました、今は地元の病院で働いています」
「ご支援のおかげで被災の翌年から大学に通うことができ、現在学んだことを生かせる職場でがんばっています」

— 2011年3月11日の東日本大震災から8年。あのとき高校生だった若者は成人し、多くは社会に出て働いています。Civic Force「夢を応援プロジェクト」の元奨学生の中には、多感な思春期を非常に厳しい状況下で過ごしましたが、成長した今は全国から支援を届けてくれた皆さんに感謝をしながら「今度は人の役に立ちたい」とがんばっています。

甚大な被害を受けた被災地の「復興」はまだ道半ばですが、Civic Force が皆様とともに培ってきた災害支援のノウハウやネットワークは、昨年の西日本豪雨や北海道地震などでも活かされてきました。

また、Civic Force への寄付金を原資に立ち上がった産業復興支援基金は、2017年より一部の支援先から償還を受けることができ、償還資金を原資とした新たな資金循環を目指しています。「共益投資基金 JAPAN」として生まれ変わったこの基金は、東北だけでなく他地域の被災地や過疎地域の活性化をも後押ししています。そして、東日本大震災の経験を生かすため、2012年に設立した「アジアパシフィックアライアンス (通称 A-PAAD)^{エーパッド}」は、今や6カ国に広がり、国や組織を超えた相互協力の仕組みづくりを担っています。

私たちは常に新しいチャレンジに挑み、これからも皆様からの大切なご寄付に値する組織であるよう尽力していきます。

Contents

P2 被災地を支援する

【西日本豪雨】

- 被災した地域の復興を長期的な視野で
- NPO パートナー協働事業

【北海道地震】

- NPO パートナー協働事業を継続中

【共益投資基金】

- 「二度の社会循環」が実現

P4 緊急対応体制を創る

- 防災 考える機会に - 中学生に講義
- ファインズのチャリティ試飲会
- 気軽にできる社会貢献
- 「チャリボン」スタート!
- Yahoo!JAPAN「3.11 企画」に掲載

ほか

発行日：2019年3月

発行：公益社団法人 Civic Force
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12
富ヶ谷小川ビル 2階

TEL：03-5790-9366

e-mail：info@civic-force.org

URL：http://www.civic-force.org

被災地 を 支援する

日本各地で発生する災害時の緊急支援活動や被災地の復旧・復興に向けた取り組みなどについてお知らせします。

西日本豪雨

被災した地域の復興を中長期的な視野で

西日本豪雨の被害を受けた地域の復旧・復興をサポートするため、2018年8月から「NPOパートナー協働事業」を開始し、これまでに3県で7団体の活動をサポートしてきましたが、復興への道のりはまだ始まったばかり。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

【西日本豪雨支援】 ご寄付受付中！

■三井住友銀行 青山支店
普通 6977180

■ゆうちょ銀行
00140-6-361805
※通信欄に、「西日本豪雨支援」とご記入ください。

公益社団法人 Civic Force
シヤ) シビックフォース

■クレジットカード・電子マネー
https://bokinchan2.com/civicforce/donation/bokin/page1.php?bokin_type=donation

※様々なサポートをするためにご寄付のうち15%は運営費として活用させていただきます。

ひちくボランティアセンター



3月に宇和島市で復興フェス

愛媛県宇和島市で活動するひちくボランティアセンターは、1月、宇和島市災害ボランティアセンターの検証会議に出席し、被災者支援の現状や次の災害への備えなどについて意見交換を行いました。また、宇和島市の地元支援団体 U. グランマと協力して足湯イベントの実施や、被害を受けたみかん農家への支援を継続。3月末には宇和島市で復興フェスティバルを行うほか、九州北部豪雨の被災地訪問も計画しています。

被災地 NGO 協働センター

地域の支え合いを助ける支援

仮設住宅に入居した被災者の生活は落ち着いてきたように見えますが、一方で不眠や体の不調に悩む人も増えています。被災地 NGO 協働センターは、仮設住宅などで足湯やヘアカットなどの“癒し”を届けているほか、今後は阪神淡路大震災のときから続けてきた支援経験を生かし、地域の支え合いセンターや復興塾の活動なども進めていく計画です。



そーる訪問看護ステーション

3/31 今夏の水害に備えた防災ワークショップ



岡山県倉敷市真備町で活動するそーる訪問看護ステーションは、Civic Force のトレーラーを仮事務所として事業を継続しています。毎月1~2回、コミュニティカフェや健康チェック、ワークショップなどを通じて地域の人々が集まるにぎやかな場の提供にも力を入れています。水害の多いこの地域において、今年の梅雨時期などに備えた防災の取り組みにも尽力し、3月24日には町内で防災ワークショップを開催する予定です。

岡山マインド「こころ」

3/30「お互いさまセンター真備」法人化イベント

真備町の中長期的な復興に向けて取り組む岡山マインド「こころ」は、地域の医療・福祉関係20団体が集う真備連絡会や復興まちづくり、音楽イベントなどを毎月開催しています。11月に開設した「お互いさまセンターまび」は、相談支援や送迎サービスなど地域の人々のニーズに沿った支援を続けており、今年3月30日には一般社団法人化を記念したキックオフイベントの開催も予定しています。



Arts and Sports for Everyone (ASE)

熊本地震の経験生かしたポッチャ交流会を

「障がいのある人もない人も芸術やスポーツと一緒に楽しむ社会の実現」を目指す Arts and Sports for Everyone は、熊本地震の被災地などで続けてきたポッチャ※交流会の取り組みを、

広島や岡山の被災地でも生かそうと調査を開始しています。

※ポッチャ：重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。

北海道地震

NPO パートナー協働事業を継続中

2018年9月に発生した北海道胆振東部地震の復旧・復興を支えるため、Civic Force は現在、NPO パートナー協働事業を通じて NPO の取り組みをサポートしています。

ezorock (エゾロック)

復興イベントで乾燥野菜を配布予定

被災した厚真町の子育てグループなどと協力して乾燥野菜の製造・販売を目指す ezorock。製造技術の向上だけでなくパッケージデザインにも力を入れ、3月には厚真町で開催される復興イベントで乾燥野菜のサンプルを配る計画です。今後も、さらなる販路開拓に向けて奮闘していきます。



【北海道地震支援】 ご寄付受付中！

■三井住友銀行 青山支店
普通 7027390

■ゆうちょ銀行
00140-6-361805
※通信欄に、「北海道地震支援」とご記入ください。

公益社団法人 Civic Force
シャ) シビックフォース

■クレジットカード・電子マネー

https://bokinchan2.com/civicforce/donation/bokin/page1.php?bokin_type=donation

※様々なサポートをするためにご寄付のうち 15%は運営費として活用させていただきます。



共益投資基金 JAPAN

「二度の資金循環」が実現 累計 8 件 800 万円の償還

共益投資基金 JAPAN ホームページ
<http://kyoueki.jp/>

「共益投資」の概念で被災地の復旧・復興を後押しする「一般財団法人共益投資基金 JAPAN (旧東北共益投資基金)」は、Civic Force への寄付金を原資に 2011 年に設立されました。以来 2018 年までに東北で 14 案件 1 億 7000 万円、熊本で 3 案件 600 万円を投資し、被災した事業者の事業拡大と地元雇用の確保・拡大に寄与してきました。

また、基金設立のもう一つの目的である「二度の資金循環」の実行については、2017 年から累計 8 件 800 万円の償還が実現。償還の最大期間は 10 年を想定しており、他の案件も含めて今後も可能な限り当初の資金支援分までの償還を受け、各事業者が地域に根ざした持続可能な組織として発展していけるよう見守っていく予定です。そして、最終的には東北の支援先から償還を受けた資金は東北で、熊本事業者からの償還資金は熊本で活動する NPO 団体などに助成する計画で、地域のさまざまな課題の解決に役立てていきます。

【東日本大震災 支援案件】 ※実施中案件

- ◆雄勝硯協同組合 (宮城県石巻市)
- ◆佐藤造船所 (宮城県石巻市)
- ◆及川電機 (宮城県石巻市)
- ◆トラスト (宮城県亶理郡)
- ◆女川町宿泊村旅館組合 (宮城県牡鹿郡女川町)
- ◆釜石ヒカリフーズ (岩手県釜石市)
- ◆三陸いりや水産 (岩手県釜石市)
- ◆オナガワファクトリー (宮城県牡鹿郡女川町)
- ◆TATAKIAGE Japan (福島県いわき市)
- ◆有限会社ドウビー・ソーシャル事業部 (旧被災事業所復興支援室) (宮城県石巻市)
- ◆オン・ザ・ロード (宮城県石巻市)
- ◆株式会社カシワダイリンクス (広島県神石郡)
- ◆株式会社 dreamLab (福島県いわき市)

【熊本地震 支援案件】

- ◆草原再生オペレーター組合 (熊本県阿蘇市)
- ◆株式会社山都でしか (熊本県山都町)
- ◆株式会社きりりコーポレーション (熊本県熊本市)

緊急 即応体制 を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。メディア掲載やご協力いただいている皆様の関連情報もお知らせします。

緊急即
応体制

防災 考える機会に - 中学生に講義

東京都中野区立中野中学校の2年生6人が、2月15日、総合的な学習「社会貢献活動調査」の一環で Civic Force 東京事務所を訪問。災害時の緊急支援活動や公益を担う民間組織の役割などについてお話ししました。中学生たちは「一番大変だったことは?」「団体名の意味は?」「僕たちにもできることは?」などたくさんの質問をしてくれました。



東日本
大震災

チャリティ 試飲会



入場料などの売り上げ全額が寄付となるワインのチャリティ試飲会（主催：ファインズ（株））が3月2日に東京で開催され、国内外から285人が来場。Civic Force の根木事務局長が被災地の支援活動について紹介しました。

緊急即
応体制

2018 年度財務諸表を公表

2018 年度（2017 年 9 月～2018 年 8 月）の財務諸表情報をホームページで公表しました。これらは公益法人会計基準に基づき作成しています。

東日本
大震災

Yahoo!JAPAN 「3.11 企画」

Yahoo! JAPAN の特集「-3.11 企画 - いま、わたしができること」で Civic Force 根木佳織事務局長のコメントが紹介されました。

<https://fukko.yahoo.co.jp/mismatch/>

緊急即
応体制

もっと気軽に社会貢献!

《一般寄付》

■バリューブックス 「チャリボン」

<https://www.charibon.jp/partner/cf/>

■本棚お助け隊「古本チャリティ募金」

<https://hondana.biz/second-hand-books-selling-for-charity/charity.html>

■EC ナビ「スマイルプロジェクト」

https://ecnavi.jp/smile_project/

《西日本豪雨》

■ジャパングビング

<https://japangiving.jp/campaigns/33840>

■GlobalGiving (英)

<https://www.globalgiving.org/projects/flood-and-landslide-relief-in-japan-we-need-you/>

《北海道地震》

■ジャパングビング

<https://japangiving.jp/campaigns/33873>

■GlobalGiving (英)

<https://www.globalgiving.org/projects/hokkaido-japan-earthquake-rescue-medical-operations/#menu>

《東日本大震災》

■バリューブックス「ブックスフォー・ジャパン」

<http://www.booksforjapan.jp/action/>

◆2月よりスタート!
ご家庭や職場で読み終わった本
やDVDなどをご活用ください!

緊急即
応体制

1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額（1,000円単位）をご寄付いただく形でともに備えてください。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

■銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964

■ゆうちょ：00140-6-361805

（上記いずれも口座名義は「コウエキヤダンホウジン シビックフォース」）

■クレジットカード：HP「オンライン募金」より

https://bokinchan2.com/civicforce/donation/bokin/page1.php?bokin_type=donation

※ニュースレターのバックナンバーは、

<http://civic-force.org/news/monthly/> からご覧いただけます。

